

総合計画審議会（第2回部会）意見対応表／環境建設部会

【総合計画全体】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想10年－前期計画5年の計画は長い。8年－4年程度にするべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会潮流の変化に実施計画のローリングで対応。総合計画は社会動向の変化にもぶれない中長期のビジョンを示したい

【基本計画全体】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	—	各所	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDG s の説明が必要 ・ 計画の冒頭に記載するのほひとつの方法 ・ 職員の誰もが答えられるような研修や手帳配布などの取り組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標記方法について検討 ・ 序論等でSDG s の解説を記載する予定
	—	各所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「めざす姿」は現状と勘違いされないよう、計画のビジョンであるという説明を 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現について工夫

【政策1 経済の安心を生み出す】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	4	施策1／中小企業の振興 課題と基本方針 ○1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域経済の縮小を見据えた取り組みが必要」との課題に対する施策がない ・ 経済の縮小が避けられない動向であることを明確にした表現が望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題と基本方針を見直し、中小企業の振興、商業の活性化、工業の環境整備について記載

5	施策2／農林業の振興 3農業生産の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「(1)集落営農組織の法人化と認定農業者への支援」について、増産だけでよいのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大への取り組みについて記載
9	施策3／観光の振興 【全体】	<ul style="list-style-type: none"> ・馬や工場を活かした産業観光、金勝山での体験型アミューズメントやウェルネスツーリズム、空き家を生かした滞在型グリーンツーリズム、伊勢神宮や大阪、名古屋、奈良、京都との交通の便利性を生かした滞在型施設整備など、栗東にしかできない観光施策が必要。新規住民へのまちの魅力としての位置付けも含め、観光の考え方を根本から見直した方が良い ・観光に対する行政のスタンス（民間の支援か、主体性の発揮か等）を決める必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の磨き上げや民泊を含めた市内観光の滞在期間を延ばす取り組みについて記載、

【政策2 教育・子育ての安心を育む】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	17	施策1／子育て環境の充実 4青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守りも含め、ボランティア頼りは限界。有料でもきちんと見守りできる仕組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・この項目に関わらず、ボランティアが活動しやすい環境づくりを推進する
	23	施策4／学校教育の充実 3小・中学校、幼稚園等における給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東で採れたものを栗東で食べてもらうため、保管できる体制（冷蔵施設）を考えるべき ・農業者・行政など各主体の役割の明確化が必要。また、（高くても）栗東産の農産物等の品質がよいというアピールが大切 	<ul style="list-style-type: none"> ・「政策2－施策4学校教育の充実」の学校給食への地産地消の位置付けについて検討する ・地元食材や郷土料理について可能な限り対応する

【政策3 福祉・健康の安心を築く】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	29	施策2／スポーツの振興 2競技スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革で部活を見る先生がいなくなり、中学スポーツは衰退し、部活は今後5年でなくなっているかもしれない。団体の取り組みでは競技力は高まらず、地域ボランティアや定年退職者の指導頼りになるかもしれない。競技スポーツの振興が書けるのか 	<ul style="list-style-type: none"> 現状を踏まえた表現や各事業の連携を精査 スポーツ大会の実施により市民の関心を高めるとともに、競技団体の支援に努める。

【政策4 暮らしの安心を支える】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	43	施策3／防犯・消費者保護の推進	<ul style="list-style-type: none"> ハードの整備や警察との協議で進まない時にどうするか。パトカーが進入できない住宅地の空き巣対策としての巡回強化など、めざす姿を実現するための取り組みを考えることが必要 草津警察署の移転に対応し、栗東市内への分署の設置ができないか 	<ul style="list-style-type: none"> 県警本部に要望も目に見える成果は出ていない。草津署の移転に対応した要望活動を強化する。
	57	施策9／防災の推進 基本事業	<ul style="list-style-type: none"> 防災関連の情報が市民に周知し切れていない。周知徹底が必要 市民団体とタイアップし、意識啓発の機会を増やすのも一案 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画の見直しにおいて位置付けていく。来年度には総合防災マップの配布も予定している。

総合計画審議会（第2回部会）意見対応表／総務部会

【基本計画全体】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	—	各所	・「各主体の役割」は本計画の重要なポイントの一つであり、囲いや文字の強調などを考えては	・冊子化する際には視覚的にわかりやすく工夫したい
	—	各所	:本文中にSDGsの説明が必要	・SDGsと総合戦略については、施策タイトルの横にアイコンで示すといった方法を考えたい

【政策4 暮らしの安心を支える】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	42	施策2／男女共同参画の推進 各主体の役割	・事業者におけるハラスメントの啓発など、行政と連携した取り組みも必要なのでは	・ハラスメント対応も含めた男女共同参画プランの改定を予定。本審議会意見や市民の意見を計画に反映させたい ・事業者に対する啓発は商工観光労政課で対応する。
	40	施策2／男女共同参画の推進 基本事業	・ワーク・ライフ・バランスやハラスメント関係の法制度がいくつか施行されているが、そうした点での記述は必要ないのか	・市職員についてはセクハラやパワハラ等に関する研修等を実施。指摘のような事業者としての取り組みについては、政策5施策2に記載
	43	施策3／防犯・消費者保護の推進	・最近、自治会の人間関係が薄れている ・防犯に自治振興課が位置付けられていない ・子どもの見守りなど関心の高いテーマは学校だけでなく、各種団体に同様の取り組みをする一方、各団体に担い手不足。多様な分野が関わるテーマや取り組みに	・防犯については自治会も中心的な役割を担っていることから、自治振興課も位置付ける ・関係課の連携については配慮していく

			<p>は、あらゆる関係課が連携してほしい。地域活動を統合・再編することも検討してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ全体の防犯の一環として位置づけてはどうか 	
49	施策5／多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自治だけの問題ではない。商工部門や企業とともに取り組みを考えるべき ・外国人の子どものことを考えると学校教育も関係する 	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人への対応についてはすべての課において関係する内容であることから連携を図るが、自治振興課がつなぐこととする。 	
51		<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織の役員は行政からの依頼等で疲弊し、地域の負担軽減が必要となっている ・地域の様々な組織の統合・再編も必要ではないか。お祭りも含め防犯、防災、福祉等、本当に必要なもの、継続すべきものに取り組みないと地域がもたない ・全てを行政・地域のどちらかが担うのは不可能であり、あらゆる分野で行政、地域、NPO、協働などを整理しなければ地域が存続できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による自治会活動への影響を考慮し、支援について検討する 	
57	施策9／防災の推進 基本事業	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理課主導はわかるが、自治会や社協等が関わる部署も連携するという記載があった方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時避難行動要支援者登録制度については地域福祉から移動させた。関係課で連携は図っていくが、危機管理課の主導で対応する 	
60	施策11／公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・管理に困るような公園への対応についても念頭に置いてほしい。地域に依頼するのはよいが、負担が大きいところは考え直す必要もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政が互いに協力し合いながらまちの緑を維持する 	

【政策5 行政の安心を営む】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	72	施策1／市民参画と協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・助成事業（資金支援）にとらわれず、「こんなことで困っている」「こんなことを勉強したい」という自治会等の思いに応え、市民がスキルやノウハウを学ぶ人材育成の機会づくりが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策について、協働を追記 ・多様化、複雑化する課題に対応するため、課題を共有し、解決に向けた市民と行政の協働に取り組む
	75	施策2／効率的・効果的な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価や事業仕分けは公開型・劇場型でなく、非公開型で公認会計士や弁護士などの専門家による第三者視点による外部評価が必要 ・しがらみのある補助金等のスクラップや統合再編を行政から言い出しにくければ、第三者組織による評価・提言で進める方法も検討してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は行政改革懇談会でPDCAサイクルを回しているが、今後、客観的な評価を受ける方法は、懇談会のあり方も含めて考えたい
	75		<ul style="list-style-type: none"> ：評価のために職員負担が大きくなっては本末転倒。職員の負担をいかに軽減するかも考えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず評価シートの簡略化などを進めたい
	75		<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想にあるPPPやPFIなど公民連携、民間活力について、基本計画には記載はないのか。記載するならここか、「施策2／効率的・効果的な行財政運営」 ・全てをPFIというのではなく、検討もしないのはよくないということ。逆に指定管理を行っているものについても見直しが必要かもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> ・PPPやPFIのシミュレーション研究など、効率的な手法の導入を追求する
	77	施策3／行政サービスの品質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「2情報戦略の推進」について、AIやRPA化はあらゆる分野で導入が進む可能性。情報戦略というより「あらゆる分野におけるAI・RPAの活用促進」というイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービス全般において、最新のIT技術の活用、推進を図る

	78	施策4/シティセールスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に表面的・一般的な内容。栗東市がどんなまちをめざし、何をセールスしたいのか伝わらない ・栗東のブランドが例えば農林業、子育て等のソフト施策にある、といったことを示す必要がある。具体的にアピールすることが明らかになると方法も考えやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに「馬のまちの推進」の施策の項目を追加
--	----	----------------	--	--

総合計画審議会（第2回部会）意見対応表／文教福祉部会

【基本計画全体】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	—	各所	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」の表現が、一文で両方を示しているものと、「課題の列挙」→「方針の列挙」というパターンがある。全体の整合を図ってはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての施策において課題と基本方針を分けた
	—	各所	<ul style="list-style-type: none"> ・計画全体にSDGsの該当番号が振られている。総合計画とは別に体系づけなどを行うのか ・SDGsは抽象的なので、より上位の部分で示してもよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事業項目ごとのナンバーは、施策ごと等に整理したい。施策名右側へのアイコン表現などを工夫したい ・SDGsの考え方はまだ十分に浸透しておらず、解説を追記する

【政策2 教育・子育ての安心を育む】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	16	施策1／子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」（○1）について、市営が基本から「支援」ではなく「運営の充実」ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の充実に修正
	16		<ul style="list-style-type: none"> ・児童館について、「課題と基本方針」では職員確保だけの記載で、基本事業には職員確保と事業展開が記載されており、「課題と基本方針」の表現が足りない 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の運営の充実について基本方針に記載
	17		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴う建て直しやトイレ（男女共同）の改善等の要望が進まない。学校のトイレが活用できると安心だが 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した児童館の維持補修を行うなど、子どもたちが安全に利用できる環境を整備する

	17		<ul style="list-style-type: none"> ・「4-(2) 青少年交流の促進」でアドベンチャーキャンプを表記しているが、ここまで表現する必要はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外体験活動という表記にとどめる
	19	施策2／子育て家庭への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「3ひとり親家庭への支援」の記載内容がわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子、父子自立支援員の配置など、記載に内容を具体的に示す
	19		<ul style="list-style-type: none"> ・「2家庭養育の支援」について、指導助言の前に困りごとの受け止めが必要であり、「…相談、助言指導を行います」としてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談に対応します」とする
	20 21	施策3／就学前教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」(○3)で児童虐待やいじめの未然防止を指摘しながら、基本事業で対策がない ・再掲でもよいので盛り込めるように検討を 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、虐待については施策1地域の子育て支援に一本化を図る
	22	施策4／学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」(○5)の「ICT環境」は「等」をつけるなど、AIやIoTを含む広義な表現に 	<ul style="list-style-type: none"> ・「等」をつける
	22		<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」(○6)の「…地産地消を推進しますが、…」という表現に違和感 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題と基本方針について分けて記載
	23		<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいへの対応は、就学前から高校卒業まで、子育て家庭への切れ目のない積極的な支援が必要。実際に実行しているなら、今後さらに発展させることを明記してほしい ・例えば「施策2子育て家庭への支援」(17頁)に、関係部署における連携や出生から高校卒業まで切れ目のない支援を位置付けてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事業を「切れ目のない発達支援」とし、発達支援システムの活用について記載 ・関係部署が連携し、切れ目のない支援を行っている

【政策3 福祉・健康の安心を築く】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
----	---	------	------	------

28	施策2／スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・「1 健康を目指すスポーツの振興」では、市民一人1スポーツを通じた健康増進や健康寿命の延伸など、もう少し健康スポーツに焦点を当ててはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安心な暮らしを実現するために生涯スポーツの参加について記載 ・ライフスタイルに応じたスポーツ活動や、生涯にわたる健康スポーツの推進を図る
29		<ul style="list-style-type: none"> ・「2-(1)競技力の向上」の記載内容に違和感。「競技性が求められる」は必要か。「より多くの市民の参加を募るための大会をめざす」でよいのでは ・スポーツ大会の目的は個人の達成感や健康寿命の延伸であり、市民の関心を高めることではないのでは ・市民スポーツ大会は「競技性を高める」だと、かえって市民参加が進まなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の関心を高める取り組みを進める ・オリンピックに新たに採用されたスポーツについても普及啓発に取り組む
29		<ul style="list-style-type: none"> ・関連計画の「スポーツ・推進計画」の「・」は必要なのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連計画の「・」は不要。削除する
30	施策3／地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「各主体の役割」の【事業者等に期待される役割】において、社協だけでは対象が狭く、医療・福祉法人等についても記載してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスや医療等を供給する主体者の役割を記載
31		<ul style="list-style-type: none"> ・「2-(3)災害時の助け合い活動の促進」に、要支援者名簿の記載があるが、必要なのはこれだけではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災の推進」に移動 ・地域とともに助け合う仕組みづくりに取り組む
33	施策4／高齢者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「1-(1)地域包括支援センターの機能強化」とともにCSWの配置も重要。CSWの配置は小学校区単位で考えるのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では中学校区単位（各地域包括支援センターへの配置）で計画。現状でもCSWの配置は1人とどまっており、今後の課題
33		<ul style="list-style-type: none"> ・「3 認知症施策と一人ひとりの尊厳保持」について、認知症への認識は広がってきたが、若い人等の認識は薄い。認知症への正しい認識をしっかりとかけがは ・認知症については研究等の進展もあり、常に研修や情 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等の要請により認知症サポーター養成講座を行っている ・小学校の授業や市の新規採用職員研修でも取り組んでおり継続していく

			<ul style="list-style-type: none"> 報に接する機会をつくっておく必要がある 現状は啓発的な取り組みが中心だが、実際に取り組むこと、福祉法人など民間事業者による取り組みの発信があってもよい 	<ul style="list-style-type: none"> 不特定多数を対象とした公開講座も実施している
	33		<ul style="list-style-type: none"> 「5 介護サービス及び介護予防・生活支援サービスの充実」について、深刻な介護人材不足に行政も積極的な取り組みを 	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材の育成も含めて、介護サービス事業所への指導や助言を充実します
	35	施策5／障がい者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護についてあまりふれられていないが、虐待や成年後見制度を含め記載が必要ではないか ニーズが高まっており、見出しに表現してもよいくらいである 	<ul style="list-style-type: none"> 「2-(2)相談等支援の実施」に含んでいるが、成年後見制度に関する追記が必要か。高齢者の権利擁護も含め、成年後見制度について追記
	35		<ul style="list-style-type: none"> 「1-(2)交流の促進」に障がい者スポーツが記載されているが、「政策3-施策2 スポーツの振興」にはない。障がい者スポーツは交流だけでなく、オリ・パラにみられるようにスポーツとして確立しつつあり、スポーツ振興にも記載してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ※施策2 スポーツの振興（29頁）への記載を検討 障がい者スポーツの振興について記載

【政策4 暮らしの安心を支える】

No	頁	記載箇所	意見要旨	対応要旨
	40	施策1／人権・平和の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「めざす姿」に平和都市宣言の宣言年を記載しているが、必要なのか 	<ul style="list-style-type: none"> 各宣言等は基本構想に記載していることから削除
	40		<ul style="list-style-type: none"> 「課題と基本方針」(○1)「…人権問題は、社会に潜在している」の表現があるが、人権問題は潜在ではなく、既に発現している 	<ul style="list-style-type: none"> むしろ顕在化しており、表現を見直す
	40		<ul style="list-style-type: none"> ヘイトスピーチや障がい者・同和問題に関する法律等が最近、制定されており、それらへの対応について何 	<ul style="list-style-type: none"> 現状認識として言及が必要なことについては、対応を検討したい

			<p>らかの表現をした方がよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法の合理的な配慮など、対応すべき考え方について整理を 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消法の推進の取り組みについて追記
	40		<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」(○5)に戦没者追悼式の記載が必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦没者の追悼について追記
	43	施策2/男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「1性別にとらわれない人権尊重と意識づくり」の「とらわれない」という表現が気になる。よい案(表現)はないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の人権尊重と意識づくりに修正
	43		<ul style="list-style-type: none"> ・「3-(2)女性の活躍機会の充実」の「○起業、」は「企業」では 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤解を招くので社会のあらゆる分野で包含しているの で削除する
	44	施策3/防犯・消費者保護の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・帝産バスが車椅子の乗車を拒否したというニュースがあった。別項目かもしれないが、交通行政としてバリアフリーが組み込まれればよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについては「政策3施策3地域福祉の推進」において記載
	45		<ul style="list-style-type: none"> ・「2-(2)地域安全活動の展開」について、声かけは自治会だけでなく、更生保護女性会など各種団体で行っており、それらもここに組み込めないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や各種団体でも取り組んでおられ、自治振興課を追記
	46	施策4/交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題と基本方針」(○1)は「…減少傾向にある」ではなく、「…減少傾向にあるものの、事故はなくなっておらず、まだまだやることがある」という表現にした方が、事業につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の現状を踏まえた課題と基本方針について記載方法を変更
	53	施策8/文化・芸術の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・さきらでの取り組みはあるが、例えば草津市が取り組む俳句によるまちおこし(俳諧の祖・山崎宗鑑との関わり)のような取り組みを栗東市でも想定できないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に応じた文化活動の支援を行う